

第6回浦和野田線の整備に関する意見交換会

【日 時】令和7年3月18日（火）14：30～15：30

【場 所】荻島地区センター・公民館 多目的ホール

【参加者】北越谷一丁目自治会、北越谷二丁目自治会、北越谷二丁目東自治会、北越谷四丁目自治会、北越谷五丁目自治会、南荻島出津自治会、堤根自治会、中組自治会、さしきだ自治会、文教大学、元荒川の自然を守る会、越谷警察署、越谷市道路建設課・学務課、埼玉県総合治水事務所、埼玉県越谷県土整備事務所（計19名）

【傍聴者】1名

【議 事】

- （1） 第2回オープンハウス型説明会の結果報告
- （2） 今後のスケジュール

【主な意見交換の概要】（○：構成員、●：構成員（越谷市）➤：事務局）

- 次回の意見交換会はR7春を予定とあるが、何を議論するのか。
- 新年度の顔合わせと出津橋周辺の横断手法や騒音対策などについて、第2回オープンハウス型説明会の御意見を踏まえた今後の検討内容を説明する予定。

- 出津橋周辺の横断手法について、関係自治会や文教大学からまとめた意見を提出すればよいのか、自然体で議論する方がいいのか、最終的にどのように意見集約していくのか。
- 意見の集約方法は決まっていない。自治会内で意見集約していただくか、県からアンケート配布するのか、説明会形式で意見集約するのか、実施方法は今後決めていきたい。

- 案4の説明パネルにおける「実現は困難」とは、僅かながら実現の可能性は残っているのか。
- ハードルはかなり高いが、説明会での御意見を踏まえて、引き続き関係機関と協議する。
- 「実現は困難」とは、今の出津橋をそのまま残して、もう1橋架けるという考えも含まれているのか。
- 現在の出津橋は、本橋を架けるまでの仮橋であり、架換えを前提としている。出津橋の架換えにおいては、浦和野田線の事業用地を活用することで考えているため、浦和野田線の事業進捗を見ながら架換え時期を検討していく。

- 出津橋を架け換える場合、現時点ではどの位置を想定しているのか。

- 現在の出津橋の直上流側。
 - 騒音対策の低層遮音壁は、高さが低く効果がない等の御意見をいただいた。
騒音発生源（車のタイヤ付近）に近い位置で対策する方が騒音抑制の効果が高いため、歩道と車道の境界に遮音壁を設置した。結果、低層（1 m）でも騒音抑制の効果はあり、環境基準値もクリアしている。
遮音壁を高くすれば騒音抑制の効果は高まるが、景観を阻害する可能性もあり好ましくないという意見（考え）もある。また、沿道へ出入りする際に遮音壁が支障となる場合は、沿道の利用者側で撤去が必要となり、利用者の負担につながる。
沿道に住む方、少し離れたところに住む方で騒音の感じ方が違うことは承知しているため、今後説明会などを通じて広く意見を聞きながら、検討していきたい。
- 歩道内に高木を植えるようなイメージ図となっているが、国道4号から浦和方面には植えられていない。元荒川工区では高木を植えるのか。
 - 植樹帯の設置や植樹を希望する御意見をいただいたため、検討素案として提案した。
現時点では、実際に植樹帯の設置や高木を植樹するかは決まっていない。
実施する場合は、高木の種類などを意見交換しながら決めていきたい。